

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 5 年 3 月 24 日(2023.3.24)

【公開番号】特開 2021-20464(P2021-20464A)

【公開日】令和 3 年 2 月 18 日(2021.2.18)

【年通号数】公開・登録公報 2021-008

【出願番号】特願 2020-166989(P2020-166989)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/12(2006.01)

10

C 0 9 J 7/38(2018.01)

C 0 9 J 133/08(2006.01)

B 3 2 B 27/36(2006.01)

B 3 2 B 27/34(2006.01)

B 3 2 B 27/30(2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/12

C 0 9 J 7/38

C 0 9 J 133/08

B 3 2 B 27/36

20

B 3 2 B 27/34

B 3 2 B 27/30 A

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 3 月 15 日(2023.3.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

合成樹脂材料と、布帛と、前記合成樹脂材料と布帛の間に配置され、かつこれらを貼り合わせる両面粘着テープとを備える複合構成体であって、140 におけるせん断強度が  $15\text{ mN/m}^2$  以上であり、前記両面粘着テープが、基材レス両面粘着テープである複合構成体。

【請求項 2】

前記両面粘着テープが、前記布帛に直接接着される請求項 1 に記載の複合構成体。

【請求項 3】

前記両面粘着テープの厚さが、 $100\text{ }\mu\text{m}$  以下である請求項 1 又は 2 に記載の複合構成体。

40

【請求項 4】

前記両面粘着テープが、前記布帛に全面貼りにより貼り合わされる請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の複合構成体。

【請求項 5】

前記合成樹脂材料がポリイミド系樹脂である請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の複合構成体。

【請求項 6】

前記両面粘着テープが、アクリル系粘着剤からなる粘着層を備え、

前記アクリル系粘着剤が、アクリル系重合体 (A) を含み、

50

前記アクリル系重合体（Ａ）が（メタ）アクリル酸アルキルエステルモノマー（Ａ１）１００質量部と、カルボキシ基含有モノマー（Ｘ１）４～１８質量部とを含むモノマー成分の共重合体である請求項１～５のいずれか１項に記載の複合構成体。

【請求項７】

前記両面粘着テープが、アクリル系粘着剤からなる粘着層を備え、

前記アクリル系粘着剤が、アクリル系重合体（Ａ）を含み、前記アクリル系重合体（Ａ）の重量平均分子量が３０万～２００万であり、かつ分散度が２．５以下である請求項１～６のいずれか１項に記載の複合構成体。

【請求項８】

ポリイミド樹脂からなる標準樹脂試料と、ポリエステル繊維布帛からなる標準布帛試料とを両面粘着テープを介して貼り合わせて測定された、１４０におけるせん断強度が１５ｍＮ／ｍｍ<sup>２</sup>以上であり、前記両面粘着テープが、基材レス両面粘着テープである両面粘着テープ。

10

20

30

40

50